



子どもたちの未来を創る NPO法人 まちのかぜ



きっかけ
と
目的

2015年 孤食の現実を知り、子ども食堂を作る
2020年 「まちのかぜ」を設立
①学習支援 ②子育て支援 ③ロス食材削減の3つの柱

活動拠点

大和市・オンライン・茅ヶ崎市や川崎の活動あり

協力者他
(大和市)

大和市社会福祉協議会・大和市市会議員
いちよう団地連合会

協力団体

一般社団法人マザー I sland189 みんなの保存食のGADC(株)
三菱食品(株) 特定非営利活動法人セカンドリーグ
公益社団法人フードバンクかながわ

ボランティア
スタッフ

現在、大和市をはじめ
全国に約60名。
高校生が主体となり→
子ども食堂の企画・開催を
行いました。



地域や社会の課題

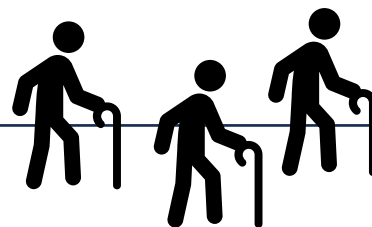


ロス食材削減

形状の悪い野菜や備蓄米、飲食店でのロスや食品メーカーでのロス食材を「生活貧困家庭やこども食堂に渡したい」ということで、有効利用が可能です。

団地の高齢化 地域の交流が減少

自治会役員の高齢化により、地域の行事が減ったり、子ども会が無くなったり、自治会への加入も減ってきているため、交流が減ってきている現状です。



働くお母さんの増加

シングル家庭、多子家庭や生活困窮家庭では、昨今の物価高のため、仕事を今までよりも増やすなど子どもと一緒に過ごす時間が減ってきている。



子どもや保護者に寄り添って、親身に対応ができるのが「まちのかぜ」の強みです。

こども食堂から広がるまちのかぜ活動事業

子ども達の未来を創る
NPO法人 まちのかぜ

子ども食堂から
広がる支援事業

まちかぜ
教室

オンライン無料学習支援

食の支援事業
(パントリーと宅配)

ロス食材削減事業
防災食のリメイククッキング

体験事業



子どもの
孤食対策
子ども食堂開催

2016～2019年
子ども食堂116回開催



2016年1月
「コアラ食堂」
スタート

2017年
「やなぎばし
こども食堂」
スタート

楽しかった！
おいしかった！
また、来るね！
今度はいつ？



寄付の食材→飲食店
で**お弁当**を作る→
中学生以下無料配布

2020～2022年
計2400個配布



2019年～
コロナが流行

2020年
「思いやり弁当」
スタート

とってもおいしい！
野菜が食べられるよ
うになりました！
いつも楽しみ！



外国籍の多い
いちょう団地
支援活動



2021年
いちょう団地
・お弁当配布
・子ども食堂
スタート

- 2021年～現在
- ①「リトミック＆子育て相談会」
 - ②「フードパントリー」スタート
 - ③オンライン無料学習支援スタート
 - ④ひとり親家庭・多子家庭・生活困窮家庭への食の宅配スタート

活動中
継続が大切

- 2025年
いちょう団地
- ・子ども食堂
 - ・フードパントリー（高齢者と子ども対象）
 - ・体験事業
 - ・団地内サロン
 - ・ごみ拾い
 - ・防災食リメイククッキング

**必要度の高い地域に
寄り添って支援を
継続することが大切**

継続・支援の広がり・人の繋がり

3

子ども食堂＝居場所



必要な人への食・教育の支援へ

2

- ・ こども食堂
- ・フードパントリー
- ・オンライン学習支援
- ・ひとり親・多子家庭への食の宅配
- ・体験学習
- ・防災食のリメイククッキング

1

- ・ こども食堂
- ・フードパントリー
- ・オンライン学習支援

- ・ こども食堂
- ・フードパントリー
- ・オンライン学習支援
- ・ひとり親・多子家庭への食の宅配
- ・体験学習
- ・防災食のリメイククッキング
- ・**保護者の就職紹介**
- ・**就職のスキルサポート**
- ・**対面学習支援**